



2021年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム

上場取引所 東

コード番号 3814 URL <https://www.afs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 隆盛

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員IR・広報室室長 (氏名) 菊本 健司

TEL 0836-39-5151

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の業績(2020年10月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	913	34.4	35		17		22	
2020年9月期第2四半期	679	17.7	229		250		452	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	9.17	
2020年9月期第2四半期	183.57	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期第2四半期	2,112	134	6.1	52.12
2020年9月期	2,183	42	2.0	17.33

(参考)自己資本 2021年9月期第2四半期 129百万円 2020年9月期 42百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		0.00	0.00
2021年9月期		0.00			
2021年9月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	93.6	320		300		258		102.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期2Q	2,632,200 株	2020年9月期	2,513,800 株
期末自己株式数	2021年9月期2Q	50,342 株	2020年9月期	50,300 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期2Q	2,471,418 株	2020年9月期2Q	2,463,500 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、GoToキャンペーンなどの政策面での後押しもありましたが、1月には2度目の緊急事態宣言が発出され社会経済活動が制限されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社の主要販売先である外食市場におきましては、第二波コロナ禍の影響を年末の忘年会にかけて大きく打撃を受け、さらに年明けの緊急事態宣言発出により、当社の顧客先である外食企業は、大変厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は、創業時より一貫し、外食企業を中心とした顧客に対し、利益追求のための食材ロス削減を実現する「飲食店経営管理システム(R)」、人件費の最適化や生産性を高めるための勤怠集計管理システム「Timely」を主力に「食材費」・「人件費」の二大原価の透明化を掲げたシステムをASP/パッケージシステムで提供するとともに、業界に特化したPOSシステム、オーダーリングシステム、周辺サービス等を通してトータルソリューションシステムを提供しております。

当第2四半期累計期間は、当社主要顧客が例年通り年末年始繁忙期によるシステム投資控えである期間であるとともに、緊急事態宣言の影響により厳しい状況下ではあるものの、当初から予定していた納品がほぼ順調に推移したことにより、売上高913,461千円(前年同四半期比34.4%増)、営業利益35,313千円(前年同四半期は営業損失229,309千円)、経常損失17,089千円(前年同四半期は経常損失250,784千円)、四半期純損失22,663千円(前年同四半期は四半期純損失452,216千円)と増収増益となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(ASPサービス事業)

当社は、顧客である外食企業に対し、ASPサービス事業を核としてASP/パッケージシステム事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。当事業におきましては、食材の自動発注システムによる効率化や各システムサービスによる自動化の要望から、売上高は889,996千円(前年同四半期比38.0%増)となり、セグメント利益は47,875千円(前年同四半期はセグメント損失197,843千円)となりました。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規計上及び既存顧客へのサービス拡大と、「飲食店経営管理システム(R)」の販売を行った結果、当事業領域の月額サービスは、コロナ禍の影響による月額の値引きを受けたことにより、売上高は391,023千円(前年同四半期比12.5%減)となりました。

なお、月額サービス料は、6ヶ月累計で371,465千円(前年同四半期比15.5%減)となりました。

② システム機器事業

当事業におきましては、従来からのPOSシステム、オーダーエントリーシステム及びテーブルオーダーリングシステムや新規事業のロボット販売について、当初から予定していた納品がほぼ順調に推移した結果、売上高は409,362千円(前年同四半期比173.6%増)となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、提携先製品の販売、機器修理などのインテグレーション、サプライ製品などの販売を行った結果、ソフトウェア製品であるASP/パッケージシステムの販売の増加とともに、売上高は89,610千円(前年同四半期比44.5%増)となりました。

(ホテル関連事業)

当社は、ASP/パッケージシステム事業、システム機器事業、周辺サービス事業のトータルシステムを実施運用するためにナチュラルグリーンパークホテルの管理運営及びレストラン・カフェの運営を行っております。ナチュラルグリーンパークホテルにおいて、自社製品/サービスの実証実験店を兼ね、管理運営しており、自社製品のすべてを同ホテル内に導入稼働し、運営を実践しております。当事業におきましては、コロナ禍の影響から、売上高は42,671千円(前年同四半期比3.4%減)となり、セグメント損失は12,562千円(前年同四半期はセグメント損失31,465千円)となりました。

(2) 財政状態の状況

①財政状態の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、2,112,857千円となり、前事業年度末に比べ70,265千円減少いたしました。これは主に、売掛金189,903千円、ソフトウェア仮勘定75,292千円などの増加があった一方で、現金及び預金107,680千円、未収還付法人税等109,614千円、短期貸付金50,100千円の減少などによるものであります。

負債合計は1,978,301千円となり、前事業年度末に比べ162,122千円減少いたしました。これは主に短期借入金126,461千円、前受金64,253千円の減少などによるものであります。

純資産は134,555千円となり、前事業年度末に比べ91,857千円増加いたしました。これは、新株式の発行に伴う資本金54,816千円、資本剰余金54,816千円の増加などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動、投資活動及び財務活動により、前事業年度末に比べ107,680千円減少し、当第2四半期会計期間末には178,476千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、30,429千円(前年同四半期は使用した資金380,986千円)となりました。これは主に、売上債権の増加による141,303千円などの資金の減少の一方で、法人税等の還付額109,623千円などによる資金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、108,060千円(前年同四半期は使用した資金100,627千円)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出85,995千円及び有形固定資産の取得による支出14,650千円などによる資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、30,429千円(前年同四半期は得られた資金199,134千円)となりました。これは主に、短期借入れによる収入1,232,039千円及び株式の発行による収入96,457千円などによる資金の増加の一方で、短期借入金の返済による支出1,358,500千円及び長期借入金の返済による支出68,166千円などによる資金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は引き続き、従来からのASPサービス/パッケージシステム「飲食店経営管理システム(R)」、「自動発注システム」を核とした食材ロス/コスト削減サービス提供やエネルギーコスト削減事業に力を注いでいくとともに、2020年6月に特許を取得した外食産業用のセミセルフレジ「セルフショット(R)」及び2020年11月より販売開始する紫外線光照射器を搭載した「除菌AIロボット」を順次製品投入することにより、外食市場の新型コロナウイルスの感染防止対策ニーズに対応してまいります。

2021年9月期の業績予想につきましては、2020年11月13日付の「2020年9月期決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	316,156	208,476
売掛金	66,016	255,919
商品	322,606	333,772
貯蔵品	18,196	19,188
前渡金	61,115	114,387
前払費用	21,544	21,002
短期貸付金	78,600	28,500
未収入金	58,488	46,877
未収還付法人税等	109,614	-
未収消費税等	28,619	-
その他	10,709	11,099
貸倒引当金	△36,403	△76,632
流動資産合計	1,055,264	962,591
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	345,247	335,959
構築物(純額)	13,814	13,039
工具、器具及び備品(純額)	91,035	81,191
土地	130,838	130,838
リース資産(純額)	51,924	41,325
建設仮勘定	395	395
有形固定資産合計	633,255	602,749
無形固定資産		
ソフトウェア	170,136	129,179
ソフトウェア仮勘定	122,503	197,795
電話加入権	2,445	2,445
特許権	393	347
無形固定資産合計	295,478	329,768
投資その他の資産		
投資有価証券	5,565	5,650
関係会社株式	93	93
出資金	10	10
長期前払費用	139,313	145,000
敷金及び保証金	22,438	22,666
長期未収入金	119,066	135,715
その他	26,000	29,000
貸倒引当金	△119,066	△125,494
投資その他の資産合計	193,420	212,641
固定資産合計	1,122,155	1,145,159
繰延資産		
社債発行費	5,702	5,106
繰延資産合計	5,702	5,106
資産合計	2,183,122	2,112,857

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,697	65,441
短期借入金	650,000	523,539
1年内償還予定の社債	30,500	41,000
1年内返済予定の長期借入金	144,667	168,919
リース債務	23,725	22,580
未払金	51,192	27,800
未払費用	10,832	7,902
未払法人税等	3,688	11,362
未払消費税等	-	21,915
預り金	10,621	10,119
前受金	139,855	75,602
流動負債合計	1,094,781	976,182
固定負債		
社債	168,500	137,500
長期借入金	805,400	809,281
リース債務	43,055	31,023
退職給付引当金	28,687	22,087
資産除去債務	-	2,200
その他	-	26
固定負債合計	1,045,642	1,002,119
負債合計	2,140,423	1,978,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	537,862	592,678
資本剰余金	327,723	382,539
利益剰余金	△785,057	△807,720
自己株式	△37,840	△37,885
株主資本合計	42,687	129,611
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10	69
評価・換算差額等合計	10	69
新株予約権	-	4,874
純資産合計	42,698	134,555
負債純資産合計	2,183,122	2,112,857

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	679,665	913,461
売上原価	526,356	485,239
売上総利益	153,308	428,222
販売費及び一般管理費	382,618	392,908
営業利益又は営業損失(△)	△229,309	35,313
営業外収益		
受取利息	9	111
助成金収入	—	8,416
その他	111	525
営業外収益合計	120	9,053
営業外費用		
支払利息	4,889	8,756
支払保証料	281	318
支払補償費	7,127	1,715
支払手数料	648	1,187
株式交付費	—	13,175
貸倒引当金繰入額	8,100	35,707
その他	548	596
営業外費用合計	21,595	61,457
経常損失(△)	△250,784	△17,089
特別損失		
特別調査費用	115,940	—
特別損失合計	115,940	—
税引前四半期純損失(△)	△366,725	△17,089
法人税、住民税及び事業税	2,959	5,573
法人税等調整額	82,531	—
法人税等合計	85,491	5,573
四半期純損失(△)	△452,216	△22,663

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△366,725	△17,089
減価償却費	86,843	93,002
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,508	46,656
賞与引当金の増減額(△は減少)	△43,299	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,285	△6,599
受取利息及び受取配当金	△9	△111
支払利息	4,889	8,756
支払手数料	648	1,187
株式交付費	—	13,175
特別調査費用	115,940	—
売上債権の増減額(△は増加)	135,799	△141,303
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,301	△12,158
仕入債務の増減額(△は減少)	△44,650	35,743
その他の流動資産の増減額(△は増加)	970	△8,630
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△77,009	△90,293
その他	△9,358	10,227
小計	△200,468	△67,437
利息及び配当金の受取額	9	111
利息の支払額	△5,076	△10,227
特別調査費用の支払額	△35,633	—
法人税等の支払額	△139,817	△1,260
法人税等の還付額	—	109,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	△380,986	30,809
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36,761	△14,650
無形固定資産の取得による支出	△72,389	△85,995
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
その他	11,523	△4,414
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,627	△108,060
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	1,232,039
短期借入金の返済による支出	—	△1,358,500
長期借入れによる収入	—	96,300
長期借入金の返済による支出	△64,170	△68,166
リース債務の返済による支出	△11,570	△12,446
社債の発行による収入	145,861	—
社債の償還による支出	△10,000	△20,500
株式の発行による収入	—	96,457
新株予約権の発行による収入	—	4,874
自己株式の取得による支出	—	△45
配当金の支払額	△60,985	△441
財務活動によるキャッシュ・フロー	199,134	△30,429
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△282,479	△107,680
現金及び現金同等物の期首残高	418,689	286,156
現金及び現金同等物の四半期末残高	136,209	178,476

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間において、2021年3月19日を払込期日とする第三者割当による新株式の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ50,001千円増加しております。また、新株予約権の権利行使による新株式の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ4,814千円増加しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において資本金592,678千円、資本剰余金382,539千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期財務諸表計上額(注)
	A S Pサービス事業	ホテル関連事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	644,731	34,934	679,665	—	679,665
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	9,244	9,244	△9,244	—
計	644,731	44,178	688,910	△9,244	679,665
セグメント損失(△)	△197,843	△31,465	△229,309	—	△229,309

(注) セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期財務諸表計上額(注)
	A S Pサービス事業	ホテル関連事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	889,996	23,464	913,461	—	913,461
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	19,206	19,206	△19,206	—
計	889,996	42,671	932,668	△19,206	913,461
セグメント利益又は損失 (△)	47,875	△12,562	35,313	—	35,313

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。